

ロボ、歯科業務サポート

RDC、人材不足補う

埼玉県内で4つの歯科医院を運営する医療法人RDC(さいたま市)は、受け付けや予約管理機能を搭載したヒト型ロボットを院内に導入した。来院患者の待ち時間を減らせるほか、人工知能(AI)を活用して患者の治療内容に応じた最適な予約管理ができる。人材確保が困難な歯科衛生士の業務をサポートし、医院経営の効率化につなげる狙いがある。



ペッパーが歯周病などに関する解説もしてくれる



さいたま市にあるアイル歯科セントラルクリニック。玄関を入ると、受

予約、自動で効率提案 治療後の注意点説明

付の隣でヒト型ロボット「ペッパー」が出迎えてくれる。液晶パネルにカルテ番号を入力すれば受け付けは完了。スムーズに診察を受けることができる。

ペッパーに搭載した歯科医院向けのシステムは、医療予約技術研究所(東京・池)と協力して開発した。10月に院内に設置し、受け付けや予約管理などの機能を果たしつつ、顔認証や音声認識などの精度を高めている。初期費用として約500万円を投じた。

歯科医院の業務効率化に最も役立つと期待されるのが、予約管理機能だ。患者が診察を終えると、サーバー上で次の診察の候補日を自動的に割り出

し、ペッパーが提案する。患者の診察履歴をAIが記憶して分析するため、来院の多い曜日や時間帯を優先的に割り当てることができる。

ウェブ上で空き時間を管理して自動で予約を受け付けるシステムは飲食店などで導入が進み、一部の歯科医院でも活用している。だが従来のシステムは予約で確保する時間の幅がどの患者も一定

で、治療内容によっては無駄が出やすい。開発段階では、治療の種類や所要時間、使う器具の消毒時間、次の診察までの間隔などのデータを蓄積。患者が診察台やレントゲン室などを行き来する動線も分析し、最も効率的な予約時間を設定できるようにした。突然のキャンセルや時間変更が出て即座に対応できるため、患者の利便

性の向上にもつながる。ヒト型ロボットならでの機能も設けた。「歯周病」や「歯ぎしり」「口臭」など歯科に関する約20項目についてペッパーに質問すると、音声で解説を受けられる。AIを活用して学習を重ねることで、例えば抜歯した患者に治療後の注意点を説明するなど、診察内容と連動したカウンセリングも実現できるといふ。

「いい夫婦ペアフリーきっぷ」は2人一組で960円。同社が土日祝日に発売している1日乗車券(1人680円)より安く設定した。赤羽岩淵駅を除く各駅で、112枚限定で販売する。平日でも購入でき、夫婦に限らず、2人組なら男女問わず利用できる。

「いい夫婦」ペアで鉄道の旅



埼玉高速鉄道は11月22日の「いい夫婦の日」にちなみ、ペア1日乗車券Ⅱ写真Ⅱの販売を同日から始める。赤羽岩淵―浦和美園間を何度も乗り降りでき、通常の1日乗車券より1人あたり200円安くなる。販売は12月25日までで、同社は「秋の行楽やクリスマスまでにぜひ仲良く利用してもらいたい」としている。

赤羽岩淵―浦和美園間 埼玉高速鉄道、1日乗車券

「いい夫婦ペアフリーきっぷ」は2人一組で960円。同社が土日祝日に発売している1日乗車券(1人680円)より安く設定した。赤羽岩淵駅を除く各駅で、112枚限定で販売する。平日でも購入でき、夫婦に限らず、2人組なら男女問わず利用できる。

西大宮に分譲住宅332棟

第一期の15棟は即日完売した

感が味わえる設計にする。農業体験やサッカー教室などのワークショップ

同社は西大宮を、マンションを

タホームや検査ホールディングスなども

日本歯数(208592) エンススされ、受う歯科の人材

「シェアサイクル」

特定手来「シェアサイクル」